

栄養のおはなし



ハーブ

古代から薬用として使用されてきたハーブは、リラックス効果など様々な効能があるとして、香料や保存料などに使われています。

料理に使えば、その爽やかな香りで食材を味わい深いものに変身させてくれます。

また、彩りや辛みは料理のアクセントにもなります。近年、私たちの生活に身近になってきたハーブについて、代表的なものをいくつかご紹介します。

ハーブというと、西洋のイメージが強いと思いますが、私たちの身近にもハーブはあります。大葉、ねぎ、三つ葉、よもぎなどは日本古来のハーブで、日常的によく使われているものです。

ハーブを使用することで料理の幅は広がり、私たちの食卓を豊かにしてくれます。その風味を利用することで、調味料を減らし、塩分を控えることも出来ます。様々なハーブを是非、お試しください。

【バジル】



トマトと相性が抜群!

【ディル】



ポテトや魚料理と相性が良いです

【ローズマリー】



肉や魚の臭い消しに

【イタリアンパセリ】



サラダや料理に散らしたり、幅広く使えます

【ミント】



飾り付けや香り付けに活躍

心音こころね

季刊誌「こころね」 第17号

KOKORONE

大分循環器病院広報誌

[こころね]

2019. June Vol. 17

腎臓病のお話

大分循環器病院
腎臓内科部長

よしだひろし
吉田博

2017年4月より大分循環器病院 腎臓内科に勤務しております吉田博と申します。私は社会人を経験した後、昭和62年に大分医科大学（現大分大学医学部）に入学し平成5年に卒業しました。卒業後は大学病院や大分県・福岡県の関連病院で研鑽を積んできました。

私は気が長くのんびりした性格で、学生時代はよく魚釣りをしながら、いろいろ瞑想にふけっていたことを思い出します。これは長所でもあり短所でもあり、また、忍耐強くもありスローペースでもあるということだと思います。

さて、私が専門としています腎臓病は慢性腎炎、糖尿病、高血圧症、免疫疾患、血液疾患、感染症、薬剤、脱水、泌尿器科的疾患など多数の原因で発症するため、常に患者さんの全身を診る必要があります。これは、私が腎臓内科学を志した理由の一つです。

当科では主に腎臓病の早期発見・診断、治療および透析診療を行っております。

腎臓病の中でも“慢性腎臓病”は蛋白尿や血尿などの尿異常や腎機能低下が3か月以上持続する状態をいいいます。慢性腎臓病の初期は自覚症状でわかつることは少なく、健康診断による定期的な検査が重要になります。腎疾患の発症機序に関してはまだ不明なことが多い、将来はさらに新しい治療薬の開発が待たれます。

慢性腎臓病の合併症として心疾患、骨・関節の異常、消化器疾患、血管病変（閉塞性動脈硬化症など）・シャントトラブル、内分泌異常、泌尿器科系疾患などがありますが、当院では【循環器内科】【整形外科】【消化器内科】【麻酔科】【心臓血管外科】【糖尿病・代謝内科】【泌尿器科】の専門医と連携し、総合的入院治療を行うことができます。また常に、大分大学医学部附属病院、大分赤十字病院、大分県立病院の先生方と連携をと



新入職員オリエンテーションを行いました

4月に13名のスタッフが入職致しました。入職当日は朝から1日かけて、全ての部署から紹介を兼ねた話があり、入ったばかりのスタッフは真剣な面持ちで臨んでいました。当院は、年に1度行う全職種合同のこの機会に、まだオリエンテーションを受けていなかった中途採用のスタッフも参加します。早く、病院の環境に慣れて患者さんから信頼される医療職になれるよう頑張って参りますので、宜しくお願い致します！



編集後記

今年は雨の少ない6月ですね。通勤通学には晴れててくれた方が嬉しいところですが、農作物にとっては大事な梅雨の雨。うっとおしいと思ってしまいます。さて、広報誌こころね第17号を最後までお読み頂き、ありがとうございます。まだ紹介しきれていない当院の情報をこれからもお届けしたいと思います。

医療法人 漢心会
大分循環器病院
Oita Cardiovascular Hospital

〒870-0837 大分市太平町4組
TEL 097-544-8800(代表)
ホームページ:<http://www.oita-junkanki.jp/>



透析室

るようしています。

腎不全（腎臓の働きが悪くなる状態）が進行した場合、治療法としては“透析”や“腎移植”などを検討することになります。血液透析あるいは血液透析濾過【online HDF：透析低血圧症（=透析困難症）、腎性貧血症、透析瘙痒感、合併症、イライラ感、不眠などの予防が期待されます】は週3回、1回あたり約4時間の施行になりますが、患者さんには以前と変わらない充実した日常生活を送っていただくことを目標としています。

外来透析患者さんについては、原則週3回来院していただきますので、患者さんやご家族にとって通院はご負担がかかると思いますが、さまざまな医療福祉制度があり経済的制約が緩和されます。送迎が必要な患者さんには、当院で契約している乗合タクシーを手配致します。

また、大分に来県された透析患者さんには“旅行透析”も承っております。

腎臓病は適切な治療によって完治するものもありますが、10年、20年という長い年月を経過して進行することがあり、薬物療法や食事療法などの治療を中心になります。治療は長期に及ぶこともあるため、患者さんへの経過説明はもちろん、常に患者さんのお気持ちに耳を傾け、不安や疑問を軽減するよう心がけております。

透析患者さんは安心して治療を受けて、充実した日常生活を送っていただけるようにスタッフ一同努めています。

新任ドクター紹介



循環器内科 鳥越 久美栄

- ①「継続は力なり」
- ② 料理、と言いたいところですが…
- ③ ハワイ旅行
- ④ 高校生の時に医療関係の本を読み、医学に興味をもったため
- ⑤ 田舎でカフェのオーナー
- ⑥ 受診して良かったと感じて頂けるよう、誠実な診療を心がけています



循環器内科 古川 祐太朗

- ①「雲の上はいつも晴れ」
- ② フットサル、サッカー観戦
- ③ 家族旅行
- ⑤ 医療関係の仕事
- ⑥ 今年4月より大分循環器病院 循環器内科へ赴任しました、古川祐太朗と申します。多くの患者さんに満足して頂けるよう日々精進していきますので、これからよろしくお願ひ致します。



心臓病教室のご案内

2019年5月より、月2回のペースで心臓病教室を開催することとなりました。心臓血管の病気をテーマに、多職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師、ソーシャルワーカー）がお話をします。まずは病気を予防することが大切です。また、病気になった時には病院の治療だけではなく患者さんご自身が日々の生活の注意点を正しく理解でき、ちゃんと病気を管理し、すこやかな毎日を過ごすことも可能です。ご質問もお受けしています。みなさん、気軽にご参加ください。

《今後の開催予定》

●7月10日(水) 15:00～ ●7月24日(水) 15:00～
※1F受付前の外来ロビーにて行います



さくらコンサートを開催しました

4月20日に行われた心臓病教室に併せて「さくらコンサート」を開催しました。

県内で活動しているボランティア楽団「さくら組」の皆さんをお招きし、最近の流行から懐かしの歌謡曲、童謡やクラシックなど様々なジャンルの曲を演奏して頂きました。若さあふれる可愛らしい司会に顔が緩み、ひとたび演奏が始まれば、素敵な音色に包まれ癒されるひとときとなりました。

コンサートは年に2～3回開催しております。次回の開催は当院ホームページでお知らせ致します。お楽しみに…♪



部署紹介

事務部(管理事務室)

私たちの業務は、**経理・人事・物品管理・情報システム管理・施設管理・総務**、と多岐に渡ります。

同じ事務部でも、受付や医療事務、医師事務作業補助のスタッフと違って、患者さんと直接関わることの少ない業務を行っていますが、一方で全スタッフが安心して業務に集中でき、専門技術を惜しみなく提供できるよう、様々な専門スタッフ間の潤滑油の役目を担っています。地味な裏方作業ではあります、スタッフとその先にいる患者さんの縁の下の力持ちでありたいと思っています。

